

## 3つのポリシーの概要

### ◇ 3つのポリシーとは

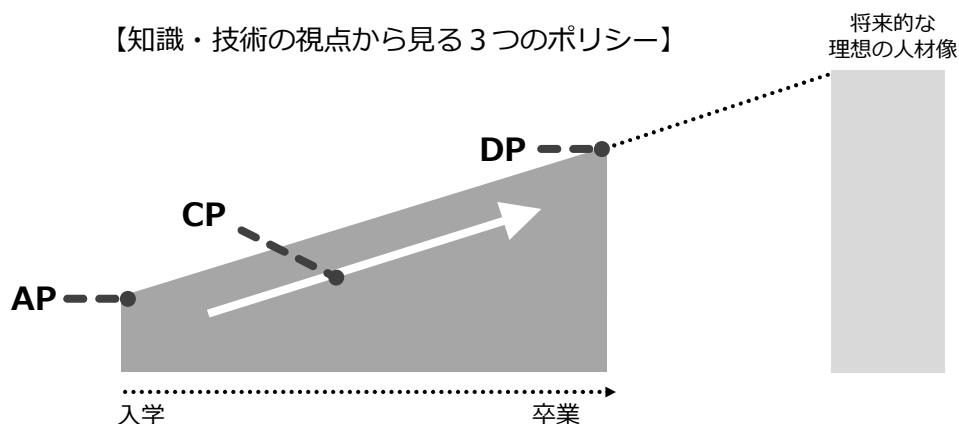
大学等の教育機関において策定・公表が義務付けられている3種類の方針

3つのポリシーは、教育課程ごとに策定することが望ましいとされるが、大学等に実情に応じて全学や学部・学科等を策定単位とすることも考えられる。また、3つのポリシーはすべてを同一単位で策定する必要はない。

それぞれの基本的な考え方と策定時の留意事項は下表のとおり

区分	基本的な考え方	留意事項
卒業認定・学位授与の方針 ディプロマ・ポリシー(DP)	各大学、学部・学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標となるもの	「何ができるようになるか」に力点を置き、具体的に記載
教育課程編成・実施の方針 カリキュラム・ポリシー(CP)	DPの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針	教育課程編成、当該教育課程における学修方法・学修課程、学修成果の評価のあり方等を具体的に記載 初年次教育、教養教育、専門教育、キャリア教育等の様々な観点から検討を行うこと
入学者受入れの方針 アドミッション・ポリシー(AP)	各大学、学部・学科等の教育理念、DP、CPに基づく教育内容を踏まえ、どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学習成果（「学力の3要素 <sup>*</sup> 」についてどのような成果を求めるか）を示すもの  ※①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度	入学前にどのような能力をどのようにして身に付けてきた学生を求めているか、入学後にどのような能力をどのようにして身に付けられる学生を求めているかなど、多様な学生を評価できるような入学者選抜のあり方について、具体的に記載

※「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）及び「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー）の策定及び運用に関するガイドライン（平成28年3月31日中央教育審議会大学分科会大学教育部会）から抜粋



# 長野県立〇〇〇大学の3つのポリシー（叩き台）

## 1 ディプロマ・ポリシー（DP）：育成する人材像・学位授与方針

長野県立〇〇〇大学は、本学の教育理念と目標を実現するために、（基礎科目）、（職業専門科目）、（展開科目）、（総合科目）を履修し、さらに大学内外での幅広い教育活動を通じて、以下に掲げる力（資質・能力）を身につけた者に対し学位（〇〇）を授与する。

- ・ 持続可能な農山村社会の構築に取り組む力
- ・ 急速に変化する社会・技術に適応する力
- ・ 組織や実社会で自律的に振る舞う力
- ・ 最新の科学と技術を活かし新たな時代の要請に応える力
- ・ 高い危機管理能力と職業倫理を備え様々なリスクを予測・回避できる力

## 2 カリキュラム・ポリシー（CP）：教育課程編成・実施方針

### (1) 教育課程編成の方針

- ・ 全人教育を基調に据え、個人の自律性や主体性を育み、地域社会の核となる人材養成のためのプログラムを編成する。
- ・ 価値の多様性を認識し、創造力や未来志向性を育むことができる適切なプログラムを編成する。
- ・ アクティブ・ラーニングを重視し、地域や組織を向上できる応用力や汎用力、問題解決能力を備えた人材養成のためのプログラムを編成する。

### (2) 教育課程実施の方針

- ・ 講義（座学）と実習・演習の密接な結びつきを重視する。
- ・ 基礎から応用・総合まで連続した積み上げ式プログラムを構築し、知識や技能・技術の確実な修得を目指す。
- ・ 講義・実習等はディプロマ・ポリシーとの関連づけを明確にし、身につけるべき知識や技能・技術の習得方法を明示する。
- ・ 知識や技能・技術の習得達成度を客観的に評価するため、公正で透明性のある複眼視的成績評価方法を採用する。

## 3 アドミッション・ポリシー（AP）：入学者受入方針

林業が世代をつないだ豊かな地域社会づくりに貢献できる人材を育成するため、次のような学生を求める。

- ・ 林業または関連産業の指導者、経営者、後継者、技術者になろうとする意欲がある。
- ・ 生態系、自然を構成する動植物に興味・関心を示し、世代をつないだ豊かな地域社会づくりに必要な専門的知識・技術を学ぶための基礎的な学力や技術を身に付けている。
- ・ 変化し続ける社会の要請に応えるため、常に関連する新たな専門的知識・技術を学ぼうとする姿勢を有している。
- ・ 木や森と人とのつながりの保持を大切に考え、身に付けた知識・技術を活用して地域社会に貢献しようとする意欲がある。